

2019年2月25日

川崎汽船株式会社

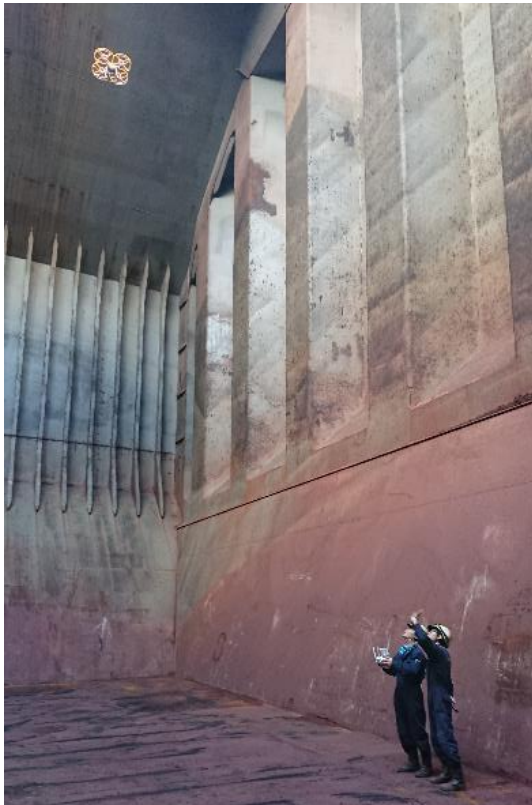
ドローンを活用した新しい船体整備点検システム開発を開始

当社は、テクノス三原株式会社（本社：広島県三原市、以下「テクノス三原」）と、ドローンを活用した新しい船体整備点検システムの共同開発に着手しました。

当社は、独自の品質指針である“KL-QUALITY”に基づいて海技者が運航船舶を定期的に検査することで、船隊の高い品質を維持してきました。検査において船体や貨物艙の鋼板や塗料の状態を確認する際、高所や水中などは立ち入りが難しく点検が困難な箇所でしたが、ドローン運行技術と画像解析技術を持つテクノス三原と昨年から共同で進めてきた空中ドローンと水中ドローンの実船検証の結果、検査精度を大幅に高めることができました。加えて、無人化によって、作業の安全性の向上や作業効率が改善を図れることが分かりました。

この度、これまでの取り組みをさらに推し進める形で、当社が長年培ってきた船舶管理のノウハウと、テクノス三原のドローン運行技術と精密検査の技術それぞれの強みを生かして、ドローンを活用した点検手法とデジタル技術を組み合わせた、新しい船体整備点検システムの開発を進めることに致しました。

当社は、本年1月に新組織「AI・デジタライゼーション推進室」を創設し、これまで築き上げてきたお客様に信頼されるサービス基盤を、新たな技術の導入などによって、より付加価値の高いものとしてご提供することを目指しています。今後も、様々な分野、業界と協業しながら、より安全で最適な輸送サービスを提供して参ります。



(写真右) 水中ドローン

(写真左) 貨物艙内で空中ドローンの飛行試験をしている様子。

※空中ドローンによる空撮映像は、下記リンクからご覧頂くことができます。

(URL) <https://www.youtube.com/watch?v=bi2LkC-C1Og>

<テクノス三原のドローン開発の歩み>

2014年から 船舶向けドローンの開発を開始。

2018年4月 川崎汽船と共同でドローンの船上試験を開始。

2018年7月 ドローンによる農薬空中散布サービスを開始。

2019年1月 一般財団法人日本海事協会より、船舶検査（主に精密検査）の代替手法の一つとして、ドローンを使用するサービスが提供できる事業所として世界初の認定。

2019年1月 仏船級ビューローベリタスが、ドローンサービス事業所として日本国内初（世界で4社目）の認定。